

板垣退助の銅像を復元

四月十二日に除幕

明治維新の際、戊辰の役の戦火から日光の社寺殿堂を救った板垣退助の遺徳をしのび、銅像を復元しようと建設をすすめていきましたが、このほど完成、四月十二日に除幕式を行なう。

板垣退助は明治戊辰の戦いのとき官軍の将として攻めてきました。日光が兵火にかかるとを惜しみ日光町民と協力して日光にたてこもっていた徳川方の軍を奥羽地方へ引き上げさせ日光を戦火から救ってくれた故人です。その恩にむかいるとともに、その功を後世に伝えるため、昭和四年、町の有志によ

て金谷ホテル坂口の所に銅像が建てられたのですが、昭和十九年になって金閣回収のため国家に献納され、その後、復元されぬまま台座だけが残って現在に至っていたものです。

昭和三十八年九月、その遺徳をしのび銅像を復元しようと復元建設委員会がつくられ、具体【完成した銅像】



つたものです。もとの銅像の製作者、故本山白雲氏の原型をもとに復元され

山火事を防ごう

これから落葉や枯木の燃えやすくなる時期です。栃木県の昭和四十年(一月～十二月)の山火事発生件数は六十二件ですが、この八割にあたる五十件が春に集中

ました。大きさは台座を含めて約二・五八メートル(八尺五寸)です。

優良消防団員など表彰

※優良消防団員(三月七日の消防記念日に消防本部で表彰) 長博志(第三分団副分団長)

- 佐川利夫(第一分団班長)
 - 大野雄太郎(第二分団班長)
 - 大石殿照(第四分団班長)
 - 小平喜久夫(第五分団班長)
 - 福田常雄(第六分団班長)
 - 阿久津清志(第七分団班長)
 - 神山昇(第八分団班長)
 - 山本忠男(第九分団班長)
 - 大橋国雄(第十分団班長)
 - 佐藤旭(班長)
- ※一般消防協力者に対する感謝状
- (中宮祠小中学校火災の際の消防協力)
 - 高橋茂(中宮祠)
 - 小金山庄次郎(中宮祠)
 - 日光市婦人防火クラブ中宮祠支部(支部長粒良和子)

しています。これら山火事を発生原因別にみると、たき火、タバコの不始末が大割をしめています。つぎが子どもの火遊びとなっており、いずれももっともした不注意が原因となっていました。

このため、焼失した木の損害だけでも五五〇万円に達しており、これに造林地ごしらえや植林作業その他の努力を加えると損害も相当な額になるわけですから、国土保全のうえからも、財産保護のうえからも、このように森林を灰にしてしまう山火事を防ぐため、つぎの点に十分注意してください。

※山でタバコを吸うのはつし、吸ったときは完全に消してから捨ててください。

食事や暖房のため、たき火をしますが、そのあと始末には十分気をつけ、水をかけるか足でよくもみ消すかして、そのあとに土をかぶせてください。

※子どもには不用意にマッチを預けたり、山林で火を使用させることは、山火事をおこす原因となりますので、十分注意してください。

※造林地ごしらえや、開墾などで火入れをする場合は、必ず消防本部へ届け出て許可をとってから実施してください。

火入れの許可をとった場合でも風や乾燥の強い日、人数の少ない場合、午後おそくなつてからは、延焼の危険がありますから避け、できるだけ午前中に行なってください。

以上のようなことを、みなさんひびひと注意しあって日光から山火事を出さないようにしたいものです。

ボーイスカウト隊員募集

四十二年度ボーイスカウト隊員を募集します。希望者は市役所内社会教育課へ申し込みください。(申込書は社会教育課に用意してあります)

- ▼カブスカウト(小学校三年生～五年生) 二十人
- ▼ボーイスカウト(小学校六年生) 二十人